



# (1)「一斉おはようday」結果

## ①実際に行われた場所9カ所紹介



## ②当日の参加合計人数・各ポイント参加人数

11月1日の一斉おはようday  
各ポイント参加人数 113人

①たつみ	地域 15人	保護者 3人	18人
②ゆうゆう	地域 11人	保護者 1人	12人
③セブンイレブン	地域 15人	保護者 1人	16人
④歩者分離交差点	地域 6人	保護者 4人	10人
⑤一関小正門	地域 13人	保護者 0人	13人
⑥一関小裏門	地域 9人	保護者 3人	12人
⑦真滝四区	バス児童の地域・保護者		10人
⑧一関3区	地域4人		4人
⑨学校で街頭補導をしている場所 (14カ所)			18人

③行政区ごとの参加人数

**一斉おはようday 行政区参加者事前報告数 77名**

行政区名	各行政区 参加人数
一関一区	
一関二区	
一関三区	
一関四区	
一関銀座区	
一関大町区	
一関十二区	
一関十三区	
一関十四区	
一関十五区	
一関十六東区	
一関十六中区	
一関十六西区	
一関十七区	
一関十八区	
関が丘一区	
関が丘二区	
関が丘五区長	
関が丘六区長	
三関一区長	
三関二区長	
三関三区長	
三関四区長	
真滝二区長	
真滝三区長	
真滝四区長	
真滝五区長	
真滝六区長	
真滝九区長	

## (2)「地域の安全を守る方々とのつながりを深めよう」

### プロジェクトについて

#### ①昨年(令和4年度)の取組資料 (班長が代表して感謝の手紙を渡した。)

令和5年2月1日

各位

一関市立一関小学校  
校長 渡邊 淳

「地域の安全を守る方々とのつながりを深めよう」プロジェクトについて (お願い)

時下、皆様方にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校児童の安全な登下校のためにご尽力いただき、感謝申し上げます。

さて、本校では過日、地域の代表の方を学校に迎え、学校運営支援協議会を開催しました。その中で、日頃から地域の安全を見守ってくださる方々と児童のつながりを深めることの重要性が話題となり、検討した結果、下記の要領でプロジェクトを立ち上げる運びとなりました。

つきましては、趣旨にご賛同いただくとともに、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### 記

- 1 プロジェクト名 「地域の安全を守る方々とのつながりを深めよう」プロジェクト
- 2 ねらい

地域の安全を見守ってくださる方々とのつながりを深め、自然に感謝の気持ちをもちながらあいさつができる子どもを育てる。

- 3 プロジェクトの概要

通学路で毎日子ども達の安全を見守ってくださる方々の名前を知ることで、親近感や感謝の気持ちをもたせるとともに、積極的なあいさつができる子どもを育てる取り組みです。

- 4 今後のスケジュール

(1) 2月1日(水) 本日 ～ 2月7日(火)

→地域の方へお知らせの文書を配付する期間

※登校班の班長がお知らせの文書を手渡しいたします。

**お名前や見守り箇所を記入していただく用紙を同封いたします。お手数をおかけしますがご記入をお願いいたします。後日、子どもが回収いたします。**

(2) 2月9日(木) ～ 2月14日(火)

→皆様方のお名前を教えていただく期間

※登校班の班長が、自分が手紙を渡した方から名前を書いていた用紙を回収いたします。朝、登校班の班長が声を掛けますので、用紙をお渡しください。

(3) 3月～修了式まで

→積極的にあいさつをする期間

※子どもたちが積極的にあいさつをする期間です。対応をよろしくお願いいたします。

## 2つ目の柱～あいさつができる児童の育成～

一関小学校は、先手必勝のあいさつに全校で取り組んでいます。あいさつを相手よりも先に行おうという取組です。理解はしていても実際の姿に繋がるまでは、体験が大切です。そこで、保護者・地域と連携してあいさつができる児童の育成を進めています。



朝の登校班での挨拶

登校班の集合場所で見送りの保護者の方々にあいさつする様子です。この後、登校班の班長さんが「今日も元気にあいさつして行きましょう」とみんなに声を掛けて学校に出発しています。

### 地域での挨拶を強化

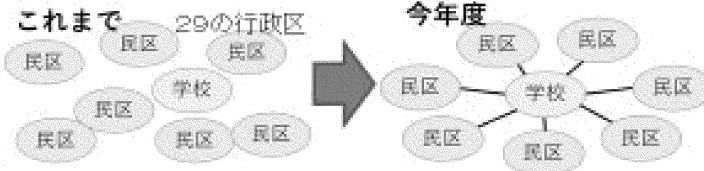


### 子供達自身の取組

64人の登校班長が、地域で見守りをしてくださっている方々に、「名前」・「住所」・「見守り場所」を尋ねるお手紙を渡し、答えていただきました。朝の挨拶を誰にしているのかが分かり、元気な挨拶に繋がっています。

### 一関小学校としての取組

学区の29の行政民区长さんを通して、地域のどこで誰が子供達を見守ってくださっているのかを把握し、行政民区と学校との繋がりができてきました。



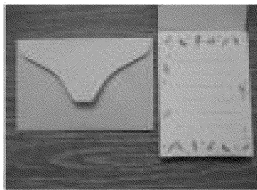
## 3つ目の柱～児童の安全向上と感謝の気持ちの育成～

見守りをしてくださっている方が分かったことで、相手意識をしっかりとちながら、「お礼の手紙」を送る取組をすることができました。コロナ禍ということもあり、なかなか伝えることができなかった感謝の気持ちをしっかりと伝えることができました。

これから登校班員をまとめて頑張ります。よろしく願いいたします。ありがとうございます。(手紙内容)

岩手日日 令和5年3月2日付

地域の子供たちが交通事故に遭わないようにと続けてきただけでしたが、とても嬉しい気持ちになりました。



### 新聞記事

来年度は、班長だけでなく、班員も取り組みます。

②今年度の活動の方向性 (全児童の相手意識を高める。多くの地域の方に感謝の心を届ける。)

●全校児童が感謝の手紙を書く。

●登校班ごとに渡すポイントを決めて、多くの方に感謝の手紙が届く様にする。

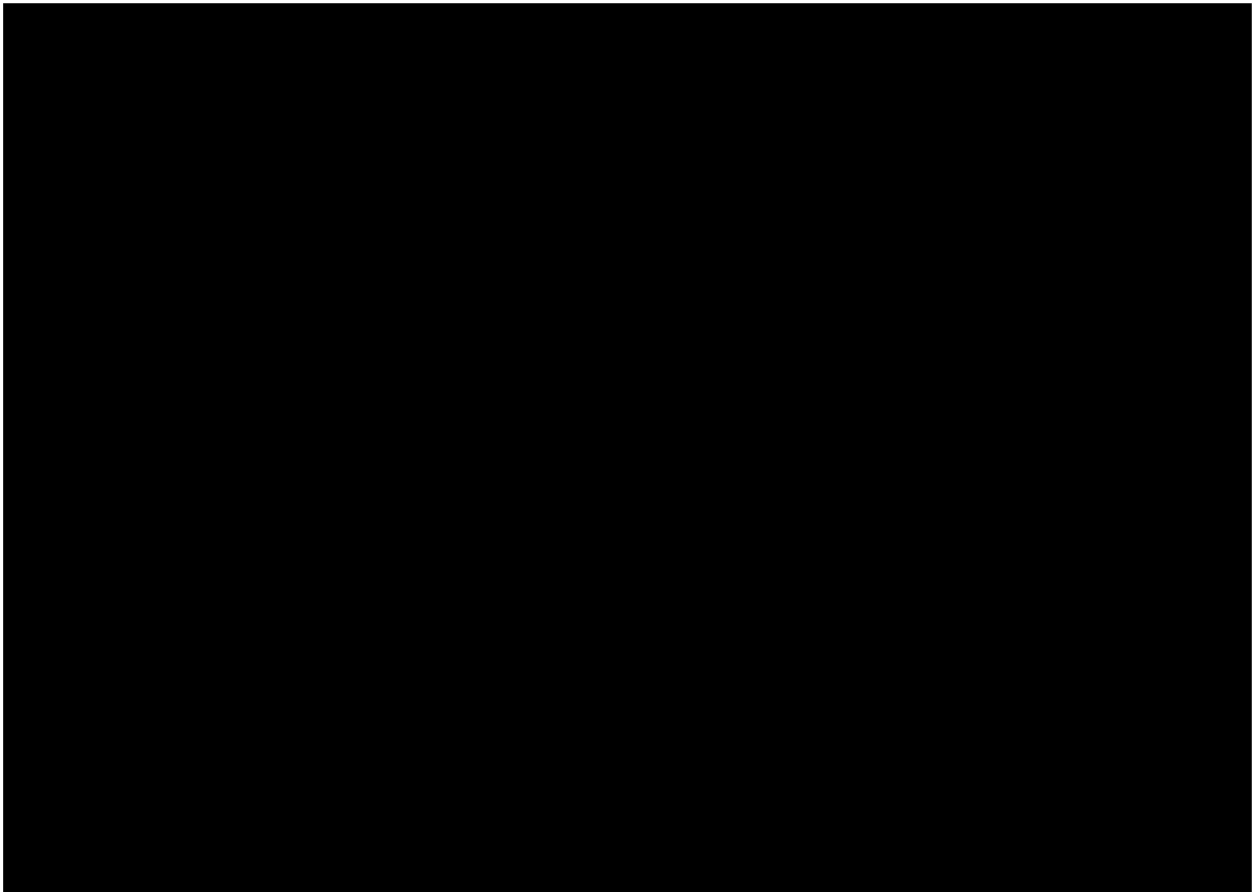
メモ欄

③地域の安全を守る方々とのつながりを深めよう」プロジェクト分担

メモ欄

## 次第の6

### 第4回学校運営支援協議会（2月20日火曜日）について



メモ欄